

■目次

■平成27年第1回定例会【3月】

当初予算	2～3
議案質疑のあらまし	4
補正予算・人事・陳情	5
教育委員会制度が変わる	6
一般質問	7～11

■議会だよりギャラリー 12



榑原小学校運動会

5月23日(土)、晴天の中、榑原小学校運動会が行われました。
最高の喜び(笑顔)は、頑張った証です！

3月12日から20日にかけて3月定例議会が開かれ、27年度当初予算や条例の制定・改正などの町長提出議案39件と、議員提出議案2件の全てについて可決しました。

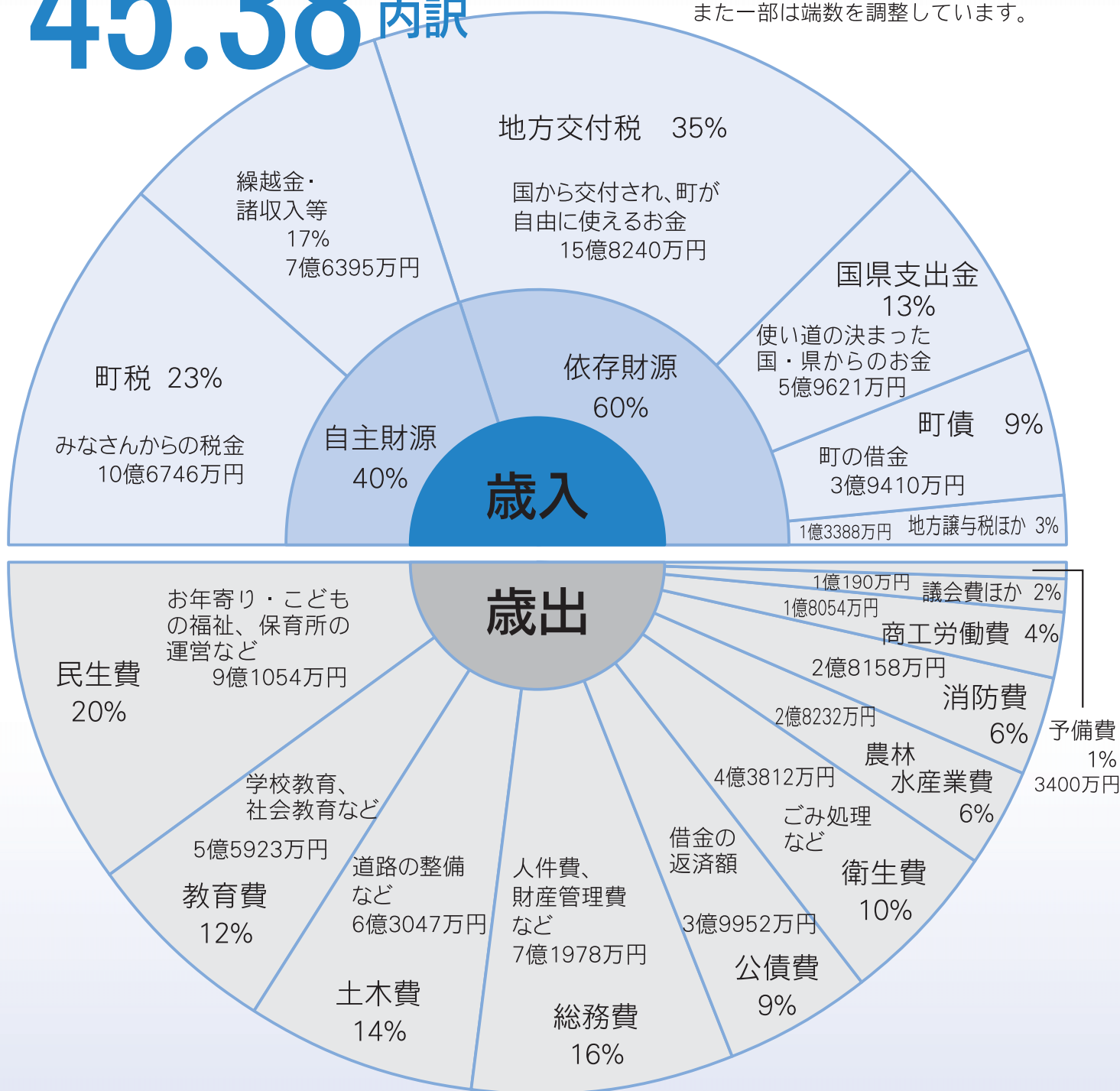
一般質問には5名の議員が登壇し、町政の諸問題について町の考えをたしました。

3月定例会

27年度一般会計当初予算

45.38億円の 内訳

すべての金額は、読みやすくするため千の位で四捨五入してあり、また一部は端数を調整しています。



27年度当初予算を可決

27年度一般会計当初予算は、第5次下郷町振興計画での「美しく輝く笑顔あふれる交流のまち下郷」を将来像に掲げたまちづくりを目標に、7項目の基本目標の沿った予算編成となりました。

重点事業の編成状況



提出された主な議案

【町提出議案】

- ▼専決処分等の報告（損害賠償の額の決定及び和解）
- ▼専決処分等の承認（一般会計補正予算）
- ▼人権擁護委員候補者の推薦
- ▼職員の給与に関する条例等の一部改正
- ▼教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正
- ▼議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ▼町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- ▼特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ▼特別職報酬等審議会条例の一部改正
- ▼教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例
- ▼下郷町行政手続条例の一部改正
- ▼下郷町介護保険条例の一部改正
- ▼介護保険法に基づく条例の設定（5件）
- ▼保育の実施に関する条例の廃止
- ▼下郷町公立保育所条例の一部改正
- ▼子ども・子育て支援法及び児童福祉法に基づく条例設定（3件）
- ▼下郷町道路占用料徴収条例の一部改正
- ▼下郷町公園条例の一部改正
- ▼町道の路線認定
- ▼26年度補正予算（一般会計及び特別会計6件）
- ▼27年度当初予算（一般会計及び特別会計6件）
- ▼教育長の任命
- 【議員提出議案】
- ▼下郷町議会委員会条例の一部改正
- ▼福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出

27年度一般会計当初予算の質疑

▼会津下郷駅の運営は

問 町森林組合が駅運営から撤退し、町観光協会が新年度は運営するということだが、今後どのように運営していくのか。

答 森林組合が3月末をもって、本来の業務に特化するという事で、当面の間は湯野上温泉駅を運営する町観光協会が行うこととなるが、今後、地元住民や関係機関等で協議して、芦ノ牧温泉駅のような駅を守る会のような有志による運営ができるよう進めていきたいと考えている。

問 プロモーションビデオを制作するとあるが、制作されたビデオを、どういうところで、どのようにして使うのか。

答 プロモーションビデオとCMの制作を予定している。

制作は、会津ジイゴ坂学舎の下郷ふるさと大使でもある安孫子監督に依頼する予定であり、町の観光地や魅力を伝える内容となっている。

活用方法は首都圏向けに、観光キャラバン等で使用し、ふくしまDCにあわせて県内のテレビ局、首都圏向けでは東武鉄道のデジタルサイネージ、電子公告で活用できないか検討中である。

▼制作されるプロモーションビデオを、どのように利用し宣伝を行うのか。

問 プロモーションビデオを制作するとあるが、制作されたビデオを、どういうところで、どのようにして使うのか。

答 プロモーションビデオを制作するとあるが、制作されたビデオを、どういうところで、どのようにして使うのか。

▼障がい者福祉施設「ホイップ」への補助基準は

問 ホイップに対しては平成25年度に車両購入として10分の10に近い補助金を出しており、今回施設の改修で3分の2の補助となっているようだが、その根拠は何なのか。

答 平成25年度の実績を基にしているが、財政力指数が40%未満の場合、県の補助率も下がり町負担が多くなることも関係してくる。

▼生活路線バス委託料増額の要因は

問 生活路線バス委託料が30万円ほど増額しているが、その要因は何か。

答 平成25年度の実績を基にしているが、財政力指数が40%未満の場合、県の補助率も下がり町負担が多くなることも関係してくる。

補正予算（繰越明許費）に 地方創生事業が計上される

平成26年度補正予算に計上された繰越明許費事業

事業名	金額
社会保障・税番号制度システム整備事業	4,473,000円
地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）	32,593,000円
地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起・生活支援型）	12,500,000円
農林水産業施設災害復旧事業（十文字地区）	5,026,000円
公共土木施設災害復旧事業（町道大松川音金線）	7,520,000円
計	62,112,000円



キーワード『地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金』

国のまち・ひと・しごと創生総合戦略として、地方公共団体が実施する地域における消費喚起やこれに直接効果を有する生活支援策に対し、国が支援するもの（一般に地方創生事業と呼ばれているもの）。

◎下郷町では、以下の事業などが平成27年度に実施される予定

- ◆地方版総合戦略計画策定
- ◆湯野上地域整備基本構想策定
- ◆高齢者タクシー助成事業
- ◆夢ある農業担い手育成支援事業
- ◆商工会補助金（プレミアム商品券の発行）

件名	提出者住所氏名	付託した委員会	審査結果
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情	南会津町田島字後原甲3531-1 日本労働組合総連合会福島県連合会南会津地区連合会議長 渡部 秀介 外1名	産業厚生	採択

陳情

◆人権擁護委員
弓田忠夫氏（音金）の候補者推薦に同意

人事

4月1日より教育委員会制度が変わる

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正となり、教育委員会委員長と教育長が一本化された新「教育長」が設置されることになり、これに関連する条例が可決されました。

また、制度改正による新「教育長」には、渡部岩男氏（塩生）が選任され可決されました。

教育委員会委員長と教育長が一本化された新たな教育長に、渡部岩男氏を選任する議案が提出され、全会一致で可決同意されました。

渡部岩男氏は、当町旭田小学校や南会津町の田島小学校、田島中学校の校長を歴任したほか、県南会津教育事務所次長を務めるなど、郡内の教育振興に尽力されてきました。

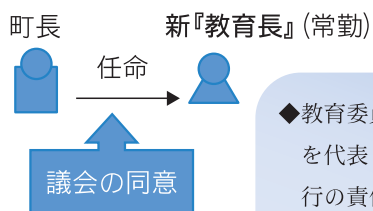
平成27年4月1日に町長より辞令が交付され、任期は平成30年3月までの3年間となります。



▼新教育長に渡部岩男氏

教育委員会制度改正の概略

教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置



- ◆教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表（会議の主宰者、具体的な事務執行の責任者、事務局の指揮監督者）
- ◆任期は3年

- ◇町長が直接教育長を任命することにより、任命責任が明確化
- ◇第一義的な責任者が教育長であることが明確に
- ◇緊急時にも、常勤の教育長が教育委員会会議の招集のタイミングを判断

「総合教育会議」を設置



- ◆町長が招集。会議は原則公開
- ◆構成員は町長と教育委員会
- ◆協議・調整事項
 - 教育行政の大綱策定
 - 教育の条件整備など重点的に講ずべき施策
 - 児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置

- ◇町長が教育行政に果たす責任や役割が明確になるとともに、町長が公の場で教育政策について議論することが可能に
- ◇町長と教育委員会が協議・調整することにより、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることが可能に

教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化

- ◇教育委員会の審議の活性化

教育に関する「大綱」を町長が策定

- ◇地方公共団体としての教育政策に関する方向性が明確化



町政

ここを問う

佐藤孔一議員の
一般質問

質問

塔のへつり周辺一帯の
面的な整備が必要ではないか

答弁

観光事業者等と協議検討する
機会を講じていく

問

第5次振興計画で23
0万人の観光客を目指
す町として、塔のへつり周辺

の整備が不十分である。

観光立町としてさらに発展
するためにはグレードの高い
観光地としての対策が必要と
考えるが、基本的な考えを伺
う。

答

国道121号からのア
クセス道路については、
過去に検討した経緯はあるが、
道路構造上の問題により実現
していない。しかし、観光を基幹産業と
する本町にとって障害になる
事案については、最大限の努
力をもって改善に努めていき
たいと考えており、観光事業
者等と協議検討する機会を講
じていくこととしたい。

質問

会津縦貫南道路計画
における問題解決を

答弁

沿線地区住民による協議会を
設立し、事業の推進に努める

問

会津縦貫南道路湯野上
バイパス事業も着手段
階に入ったが、様々な問題が
浮上してきており、次の対策
を講じてほしい。① 中妻地区にインターチェ
ンジを② 町が先頭に立ち沿線地区
を包含した対策協議会を
設立し、要望の実現を

③ 共有地の相続登記は国負



一部着工された張平地区

担により解決を

答

会津縦貫南道路は、国
道289号甲子トンネ
ルに次ぐ大きなプロジェクト
であるとともに、広域ネット
ワークを形成する重要な道路
となる。

質問

復興事業の補助を有効に
使ったまちづくりを

答弁

観光特区の最大限の利用を
図っていかうと考えている

問

観光特区を県が51市町
村と共同で申請したと
の新聞報道があったが、国や
県の補助を有効に使い、まち
づくりの推進をしてほしい。

答

観光特区については、
企業関係者に優遇措置
のご利用など、特区の最大限
の利用を図っていただこうと
考えている。

室井亜男議員の
一般質問

質問

高齢者等への
タクシー券利用の拡充を

答弁

1回500円から
1,000円で協議していく



今年の田植えの様子

質問

米の所得補償は、南会津郡内で
足並みを揃えるべき

答弁 米農家に恩恵がある内容で
実施することを約束する

問

米の所得補償制度減額
に対して、南会津町及
び只見町では、町独自で2千
5百円をプラスして補ってお
り、南会津郡内で下郷町だけ
が行っていないので、足並み
をそろえるべきではないか。

答

米の所得補償の見直し
については、十分に考
えており、農業再生協議会委
員の方々から、米の経営安定
化対策事業に加入した農家に
恩恵があるように知恵を出し
ていただき、そして実施して
いくことを約束する。

質問

2月10日の降雪時に
町道除雪が行われなかったが何故

答弁

除雪体制に不備があり
お詫びする

問

2月10日の降雪時に町
道除雪が行われなかつ
た。積雪は何cmで出動するの
か。同地区で業者委託路線は

除雪されたが、町直営部分が
除雪されず、その交差部分が
傾斜地のため通行に支障を来
たしていたが、大内雪まつり

質問

インフルエンザ
予防接種の徹底を

答弁 保護者の考えもあるので
手洗い、うがいの徹底で

質問

当町に固定資産税等の課税誤りに
よる返納や追徴はあったのか

答弁

正規な算定が行われており、
誤りはない

の準備に除雪車がでてしまっ
たためか。

答

町の除雪計画では、積
雪15cmで出動する基準
となっており、委託路線は業
者の判断に任せている。
除雪車が、大内雪まつりに行っ
ていたのは間違いなく、町道
除雪の不備でご迷惑をおかけ
したということであればお詫
びいたします。



町政

ここを問う

佐藤盛雄議員の 一般質問

質問

定住促進住宅の建設スケジュールに
どのような変更が生じたのか

答 弁 整備計画を見直した結果

基本設計の策定を行っている

問

定住促進住宅の建設は
用地買収から敷地造成
まで終了し、平成26年度予算
に実施設計委託料が計上され
ていたため、建設に向けて前進

すると思われたが、今定例会
の補正で3百96万5千円が減
額される予定となっているが、
スケジュールにどのような変
更が生じたのか。

答

整備計画を再検討した
ところ、基本設計を実
施する前に基本計画の策定を
実施することがベストと判断

質問

県事業の宿泊費補助とタイアップ
した町の上乗せ補助の実施を

答 弁

2千円のキャッシュバック
事業により対応する

問

県で1万円の旅行券を
5千円で販売する方針
だが、町や観光協会がこれに
上乗せ補助するようにし、
県発行の旅行券利用者を下郷
に誘導できるのではないか。

答

県の旅行券事業につい
ては、内容については
まだ検討中であり、町として
は、町観光協会事業となる、
2千円のキャッシュバック等
を進めている。



敷地造成後の建設予定地
産業厚生常任委員会で視察(11月)

し、基本計画の策定を進めて
おり、3月末までには完了す
るため、この計画によりスケ
ジュール等決めていきたい。

質問

農業機械等購入貸付育成制度は
利子補給でなく購入時の補助で

答 弁 農業再生協議会で
検討していく

問

平成26年度に創設され
た農業機械等購入貸
付育成制度は、利子補給でな
く、初期導入時の補助金にで
きないか。

問

町の農地を守り、耕作
放棄地を増やさないた
めには、町単独でも補助す
べきではないか。

答

国や県の制度では個人
に対する補助は実施し
ない方針であるため難しい。

答

町農業再生協議会で協
議し、予算の範囲内で
実施できることを望んでいる
ため、農業再生協議会で検討
していくこととする。

質問

高齢者等除雪支援事業は
ボランティア組織で行うのか

答 弁

町で除雪機械等を購入し
4名の雇用で対応

質問

監視カメラは、江川小学校以外の
学校や保育所にも設置するのか

答 弁

情報収集を図りながら
調査・検討していく



ここを問う

議員の 星輝夫 一般質問

町政

質問

国道からの大内宿入口に信号機を

答弁
関係機関に要望していく

問

観光シーズンになると、大内宿周辺では長蛇の列が起きる前に改善策が必要であり、信号機があれば良い方向へいくのは確かであり、国道と県道の交差点は、国道側を黄色点滅、県道側を赤点滅

質問

安全安心のため
消火栓未整備地区の整備を

答弁
防火水槽まで加えると
消防水利は確保されている

問

いまだ簡易水道が整備されていない地区があり、消火栓もない状況である。町民を一人でも守る義務が行政にはあり、また、移住者定住者を求めるならば、安全

答

簡易水道施設や給水施設未整備地区において

安心は必須条件であるが、消火栓未整備地区について整備する考えはあるのか伺う。

は消火栓がなく、水圧や水道管口径の問題から設置できない箇所もあるが、このような場所は防火水槽や自然水利で対応している。

消火栓のみでなく、防火水槽や自然水利まで加えると、安全安心は確保されていると考えている。

質問

空き家等の適正な管理を図るため
条例制定の考えはあるのか

答弁
空き家対策計画を策定し
検討していく

問

空き家が倒壊の危険となつた場合の町の対応はどうなっており、空き家を撤去する際に、国、県、町などからの補助金制度はあるのか。

また、町では、空き家等の適正な管理を図るための条例を制定する考えはあるのか伺う。

答

大雪等の警戒時には、職員により町内巡回を行うため、家屋の倒壊のおそれ等に関しても注意を払うようにしている。

撤去にかかる補助金制度は、今のところ個人が受けられる制度はない。

条例制定については、近年放置されている空き家の増加が社会問題化しており、本町



倒壊しそうな空き家(小野地区)



町政

ここを問う

議員の猪股謙喜の一般質問

質問

平成27年度当初予算は、第5次下郷町振興計画に基づいたものか

答弁

7項目の基本目標に沿った予算編成となっている

問

平成27年度一般会計当初予算は、第5次下郷町振興計画に基づいて編成さ

れているのか。

また、実施計画に沿った予算であるのか。

答

第5次下郷町振興計画での「美しく輝く笑顔あふれる交流のまち下郷」を将来像に掲げたまちづくりを目標に、7項目の基本目標に沿った予算を編成した。実施計画は、平成27年度に過疎計画が見直されるため、これと整合性をとりながら策定予定しているので理解をいただきたい。

質問

消防団員確保のため消防団員個人への優遇措置を

答弁

自衛消防の精神を尊重しながら対応する

問

町内各地域で消防団員不足の問題があるが、団員の確保施策として町の考えを伺う。

① 団員個人に税免除や減額の優遇措置をする考えはあるか。

② 企業に対する優遇措置として、入札制度における点数加算を行っているのか。また、固定資産税の減免を考えてはどうか。

③ 消防団未加入の町職員に入団を促してはどうか。婦人消防隊の年棒増を考慮するとともに、消防団員と同様の優遇措置を考えてほしい。

④

答

全国的に地域消防力の低下が懸念されており、

④

財政面を勘案し、我が町を自分たちで守るという自衛消防の精神を尊重しながら対応していく。



春季検閲式における婦人消防隊

質問

町長公約の(仮称)湯野上温泉会館とはどのようなものなのか

答弁

地域に合った、地域住民が望む施設を計画したい

問

町長公約の一つである(仮称)湯野上温泉会館とはどのようなものなのか

答

湯野上地域活性化事業として、地域の資源を

磨き直し、地域の魅力の向上、集客の向上を目的とし、ワークショップやアンケートなどを実施し、地域に合った、地域住民が望む施設を計画したいと考えている。



4月1日

新駅長就任 道の駅しもごう

道の駅しもごう『エマット』
の新駅長に佐藤仁夫氏（小
松川）が就任されました。
4月及び5月連休の売り上
げは昨年度を上回っている
とのことであり、風評被害
の影響も徐々に解消しつつ
あるようです（写真中央）。

5月27日

保育所田植え体験 （小池地区）

晴天の中、しもごう保育
所と湯野上保育所合同に
よる保育児童の田植え体
験が行われました。
こどもたちは、裸足で泥
まみれになりながら、農
家の方の指導のもと、一
本一本丁寧に楽しそうに
植えていました。



議会を傍聴しませんか

町議会定例会は3月・6月・9月・12月に開かれます。
お問い合わせは町議会事務局（69-1123）まで

議会広報常任委員会

委員長	猪股謙喜
副委員長	佐藤勤武
委員	山田武夫
委員	星輝夫

（猪股謙喜）

春が慌ただしく過ぎてしまつた。桜の花を愛でる間も無く。
保育園児の田植えを見ていた。はたして素足で田んぼに入ったのはいつの事だったろうか。始めは温かく、やがて冷たく泥が足を包む。この子達がいつか、この体験を思い出す時があつてほしい。
古来から、瑞穂の国と言われてきた日本。田植えが済み水を湛えた風景が未来永劫続いてほしいものである。

編集後記